

土は風とまじわり風土となる

農業生産法人(株)やまがたさくらんぼファーム 王将果樹園 代表取締役 矢萩美智さん

王将果樹園、三代目の挑戦

王将果樹園は初代の祖父が創業、二代目の父が法人化。三代目の矢萩美智さんは、大学卒業後に2年間のサラリーマン経験を経て、「二代目の父」「三代目のやり方に口を出さない」という約束のもとに就農しました。平成23年代表に就任。果樹畑を計画的に改植し、さくらんぼ生産の比率を上げながら日本一のさくらんぼ観光果樹園を目指してきました。

矢萩さんの挑戦を、父は全く口出しすることなく見守っています。親子の衝突は、農家の間ではしばしば聞こえてくる話ですが、「ここまで親父が何も言わないというの逆プレッシャーで、常に視線を感じています。私は爺ちゃん子だったから農家を継ぎました。最近ではそんな親父の覚悟を褒める人が多いですよ」と矢萩さんは笑



います。

現在、さくらんぼ園の面積は大幅に増えました。早い時期にさくらんぼ狩りができる温室ハウスには、5月下旬から多くのお客様が訪れています。遮光をしながら収穫の時期を延ばす努力も続けており、王将果樹園は山形県をリードするさくらんぼ観光果樹園になり



祖父が植えた「はじまりの樹」とともに

りました。平成28年には、直営カフェ「Oh! Show! Cafe」を併設した新店舗がオープン。天童温泉の旅館と連携して、宿泊客向けに朝摘みのさくらんぼ狩りを企画するなど、「日本一のさくらんぼ観光果樹園」の実現に向かって着実に歩まれています。

矢萩さんの想い①

仲間との出会いが大事

就農してしばらく経って、仲間がいなくて自分のやろうとしていることは実現できない、とわかりました。売上や利益はもちろん大事ですが、人が売れるわけだし、人に買ってもらうわけだし、最後は「人」。従業員は家族同様と思っています。みんなによく言うのが、仕事はドラクエと似ている、ということ。仲間がいないと戦えません。この人となと一緒に働けると感じたら一本釣りで採用しています。それと、私は50歳になったら社長をやめると周りに宣言しています。親父(二代目)がしてく

れたように、下の世代に襷をつないで

いきたい。若い世代が経営権を持つてやっつけていかなければ時代にも乗り遅れますからね。

矢萩さんの想い②

常に新しい風を

外に出て、いろんな人に会わないと視野も狭くなります。慣習も大事だけど、農業のやり方もやっぱり徐々に変えていかなないと。常に挑戦し、失敗してもまたやり方を変えていく。私は「土は風とまじわり風土となる」という言葉が好きです。さくらんぼ狩りや店舗にお越しくださいお客様のリアクションを取り入れながら、挑戦に挑戦を重ね、常に変わり続ける努力をしています。



DATA

農業生産法人(株)やまがたさくらんぼファーム 王将果樹園
〒994-0103 天童市大字川原1303番地
TEL 023-657-3211
WEB www.ohsyo.co.jp

若農通信の配信にあたって

平素は山形銀行農業関連業務において格別のお引き立てをいただき厚く御礼申しあげます。また、会員の皆さまにおかれましては日頃より若手農業者の会活動にご協力いただき重ねて御礼申しあげます。さて、このたび当行が事務局を務めます「若手農業者の会」において会員の皆さまにお役に立つ情報をお届けするため、装いも新たに「若農通信」として今月より2カ月に1度配信をはじめさせていただきます。

おかげさまで、若手農業者の会は平成22年11月の発足以来、会員数も約400名まで増えました

(H29.3月現在)。これもひとえに、農業者の皆さま自身がお活用いただいたことや、皆さまが相互に情報交換や交流を積極的におこなっていただいた結果と考えております。当行といたしましては、今後皆さまのビジネス展開にお役に立つご提案はもちろんのこと、商談会のご案内や旬のトピックスなど様々な情報提供をこれまで以上に積極的におこなってまいります。末筆になりますが、会員の皆さまの益々のご盛況を心より祈念申しあげまして事務局からの挨拶とさせていただきます。

INFORMATION



開催日 / 8月25日(金)午後

※詳細は後日ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。



株式会社山形銀行
〒990-0042 山形市七日町三丁目1番2号
TEL 023-623-1221 (代表)